

東京消防庁主催の

「家具類の転倒・落下・移動防止対策キャンペーン

～長周期地震動から身を守るために～」に対する JBMIA の協賛について



平成 24 年 3 月 29 日

技術委員会

複写機の地震安全対策 WG



[ポスターを拡大表示できます。](#)

JBMIA では 2009 年に技術委員会の傘下に「複写機の地震安全対策 WG」を発足し、東京消防庁をオブザーバとして招き、技術的なアドバイスを受けながら、2011 年 10 月にその活動成果として技術報告書「TR-22」(<http://www.jbmia.or.jp/hyojun2/upload-v3.2/archive/TR-22.pdf>)を発行し、会員企業及び一般にもその活動成果を公開しています。

また、2009 年以降の JBMIA フォーラムにてその活動成果を発表することで、広く一般にも情報を発信してきました。

これらの成果により、東京消防庁が 2011 年度後半に実施した「平成 23 年度長周期地震動等に対する高層階の室内安全対策専門委員会」に JBMIA がオブザーバとして招聘され、JBMIA の活動内容と活動成果を報告した結果、本専門委員会の報告書に JBMIA の活動成果(TR-22 の推奨対策事例)が掲載されました。(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-bousaika/report/2012/02/index.html>)

(第 3 章第 3 節[60 ページ]に複写機が記載されています。)

また、東京消防庁発行の「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」にも JBMIA の活動成果(TR-22 の推奨対策事例)が掲載されました。

(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-bousaika/kaguten/handbook/index.html>)

これらは、JBMIA 及びその会員企業が地震に備えるために活動してきた実績が認められた結果であり、今後も引き続き安全対策に推進していくこととしています。

ご参考： 東京消防庁 ホームページ (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/>)